

目的

「学苑 昭和女子大学紀要」(以下「学苑」)は、昭和女子大学における教育や研究の学術的な成果を広く内外に公表して社会の発展に寄与すること、およびそれを通じて学術分野における研究の促進と発展および教育能力の向上を図ることを目的とする。

また、「学苑」は、年に三回発行すること、学術誌(学会誌含む)に掲載されにくい種類を含めること、投稿資格に大学院生も含める(共著者としてのみ可)こと等に鑑み、研究および研究者を育てる教育的な側面も目的とする。

査読

上述の目的に沿って、投稿原稿について2名の査読者により査読を行う。査読者は、投稿原稿を査読し、寄稿概則に従って原稿の種類および掲載の可否を判断する。

査読者による査読は、修正による再査読を含め二回までとする。また査読結果により、新たな追加査読者を選定し、査読を実施する場合がある。

1. 投稿資格

投稿資格は、以下のいずれかに該当する者が有する。

- (1) 本学常勤教員、非常勤教員、助教、本学常勤教員退職者。
- (2) (1)と共同研究をしている助手、大学院生、外部研究者(本学出身者、他研究機関の研究者)、およびその他編集委員会が認めた者。
ただし、(2)に該当する者は、(1)と連名でなければならない。(2)に該当する者による単著での投稿は認めない。
- (3) 共著の筆頭となる著者については、論文に対する相対的な貢献度を基に決めることとし、(1)または(2)に該当する者とする。
- (4) なお投稿資格に関しては、(1)(2)に該当する場合でも、編集委員会で協議する場合がある。

2. 原稿の内容

原稿は、未公開のものに限る。定期刊行物(学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など)や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の論文は投稿できない。ただし、学会発表抄録や科研費などの研究報告書、卒業論文や修士論文の再構成などはこの限りではない。

原稿は、編集委員または編集委員会が依頼する複数の査読委員によって覆面査読される。査読委員は、専門的知見から、投稿原稿が投稿規程に則り、掲載が可能かの確認を行う。投稿原稿に疑問が生じた場合、編集委員会の名において、執筆者への問い合わせをすることがある。また、倫理的に問題のあるものや、論文の体裁に問題のあるものに関しては掲載を見送ることがある。

3. 原稿の種類

原稿は、【総説】【論文(報文。以下「論文」と記載)】【研究ノート】【デザインノート】【資料】(※翻刻・翻訳、解説・解題は【資料 翻刻解題】)とする。完成度、有用性の観点から原稿を以下の通り、定義する。

- (1) 【総説】は、特定の主題についてのこれまでの知見や研究業績を総括したものである。
- (2) 【論文】は、完結した研究成果を整理統合したもので、問題提起、研究成果、理論的考察、明確な結論を備え、有用な結論が示されているものとする。分量は、図、表、引用文献を含め、日本語論文では20,000字を、外国語論文は10,000語を限度とする。
- (3) 【研究ノート】は、既刊の研究成果に対する追加、吟味、新事実の発見、興味ある観察に関する研究成果を整理統合したもので、論文として十分な結論は得ていないが、論理的な考察を展開し、有用かつ速報的内容をもつものとする。分量は、図、表、引用文献を含め、日本語は12,000字を、外国語は6,000語を限度とする。
- (4) 【デザインノート】は、デザイン活動(例えばデザイン展出品の内容・コンペ参加作品の内容等)の報告でデザイン教育の資料として役立つものとする。分量は、研究ノートと同じとする。
- (5) 【資料】は、調査、統計、文献検索、実験等の結果の報告で、研究の資料として有用な役立つものとする。【資料 翻刻解題】は、翻刻および翻訳について必ず解説、解題を付すこととする。分量は、原則として研究ノートと同じとする。

4. 知的財産権(著作権)

知的財産権(著作権)に関わるような引用については、あらかじめ著作権者の了解を得る。引用文については、すべて原文に忠実にし、出典(書名・題名・著者名・翻訳者名・発行元・発行年等)を明記する。研究者の著書からの孫引きは、原則として認めない。原稿によっては資料の提出、貸与をお願いすることもある。

5. 執筆および投稿の手順

- (1) 執筆を希望する者は、「学苑 昭和女子大学紀要」各号のエントリー締切までに各学科編集委員に、執筆予定の旨を伝え、その際、執筆予定者名・仮題名・おおよその字数を併せて申し出ることとする。また、Google Forms「エントリーシート」に必要情報を登録し、原稿は査読を受けられる形式に整え、原稿提出締切時までに各学科編集委員にデータで提出する。
- (2) 同一号への同一著者による投稿(単著である、もしくは共著の筆頭である場合)は一篇のみとする。
- (3) 引用、註の付け方は各学科の標準的学会の執筆要綱に準じる。引用文に関しては、すべて原文に忠実にし、出典を明記する。
- (4) 原稿の仮名遣いは原則として現代仮名遣いにし、漢字の表記は常用漢字表による。ただし引用文献については、こ

の限りではない。

- (5) 原稿は原則として Microsoft Office Word で作成することとする。ページ設定は、横組みの場合は 45 字×38 行、縦組みの場合は 33 字×24 行、文字の大きさは 10 ポイントとする。
- (6) 特殊な表組みおよび図版のトレース・文字入れ等の費用は、執筆者負担とする場合がある。記憶メディアに表、図等を入れた場合は、版下刷りとともに記憶メディアを添える。
- (7) カラー印刷の費用は、原則として執筆者負担とする。
- (8) 校正は、初校および再校は執筆者が行う。校正の時点での大幅な変更は認めない。
- (9) 掲載した原稿は原則的に本学学術機関リポジトリに登録され、電子化される。執筆者は投稿するにあたり、そのことを許諾したものとする。
- (10) 抜刷に関しては、執筆者に 10 部並びにそのデータ (PDF) を進呈する。追加を希望する場合は、原則執筆者の負担とする。

学部「学苑 昭和女子大学紀要」投稿規程 (2023.5.25)

原則として「学苑 昭和女子大学紀要」寄稿概則に準じ投稿を行う。

以下の付記を記し、学部「学苑 昭和女子大学紀要」投稿規程とする。

【学部共通】 英文タイトル・アブストラクト (200 語以内)・キーワード (英文・和文 5 語以内) は、希望する執筆者がネイティブチェックを受けることができる。その際は和文草稿を添えて依頼することとする。
【人間文化学部】 英文タイトル・アブストラクト・キーワード：任意
【国際学部】 英文タイトル・アブストラクト・キーワード：任意
【グローバルビジネス学部】 英文タイトル・アブストラクト・キーワード：任意
【人間社会学部】 英文タイトル・アブストラクト・キーワード：論文、資料、研究ノートは必須 原稿の種類 論文、研究ノート、資料とする。
【環境デザイン学部】 英文タイトル・アブストラクト・キーワード：任意
【食健康科学部】 英文タイトル・和文要約・アブストラクト・キーワード：論文・研究ノートは必須、総説・資料は英文タイトル以外は任意 原稿の種類 総説、論文、研究ノートとする。資料に関しては、編集委員による話し合いでその都度検討する。 倫理的事項 (1) 研究倫理審査：ヒトを対象にした研究、動物を用いた研究、組み換え DNA を用いた研究など、研究倫理審査を必要とする内容を含む研究にあつては、著者らの所属する機関の研究倫理審査委員会等の承認を受け、該当する指針や法令を遵守したものでなくてはならない。 (2) 利益相反：利益相反の有無について、本文中に記載する。研究費助成、資料提供、物品および便宜供与等を含む。 (3) 資金：当該研究の遂行や論文作成に際して、政府又は営利を目的としない団体から、研究費助成、資料提供、物品および便宜供与等を受けた場合には、その旨を記載する。